



地域を育み、  
大陸をつなぐ

# Weekly



・会長 山田 直樹 ・例会日 毎週金曜日 12:30  
 ・幹事 唐井 仁一 ・例会場 〒488-0801  
 ・会報 井田 武憲 尾張旭市東大道町原田 2570-3

・事務所 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
 E-mail : owariasahi@mte.biglobe.ne.jp  
 URL : http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasahi/

## 本日 第1955回 2011年2月25日(金) No.1847

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: 松原 樹君

点 鐘

卓話者: 瀬戸信用金庫

国際業務担当部長 水野 孝敏 様

ロータリーソング 「日も風も星も」

演 題: 「海外進出情勢について」

## 前回 第1954回 2011年2月18日(金) 記 録

斉 唱: 「日も風も星も」

ゲスト: 社団法人 尾張旭青年会議所 理事長 岩田 剛様  
 社団法人 尾張旭青年会議所 専務理事 植松 孝之様  
 瀬戸 R C 水野 和郎君

出席者: 会員29名中27名出席 出席率93.13%  
 前々回補正出席率は1月28日分96.56%



左より岩田理事長、山田会長、植松専務理事

のですが、その日は午後1時より尾張旭市地域活動連絡協議会主催の第34回なわとび大会へ新世代委員会がメダルを寄贈している関係で、来賓として出席してきました。2時間ばかり元気になわとびに挑戦する小学生を見る機会を得ることができたわけですが、なかなか気合いの入ったシーンがいくつもあり、思わずこちらも応援に熱が入りました。一人2回トライできるのですが、競うのは何回継続してとべるかということです。それぞれ自分にあうとび方を選択して挑戦したのですが、とび技と持久力の兼ね合いがマッチするのが難しいようでした。さすがに6年生の優勝者は8210回連続してとびました。大したものでした。毎年継続された34回の歴史を数えてみえた連絡協議会に敬意を表します。6日の朝篠島を出て尾張旭に帰ってきました。午後尾張旭市社会福祉協議会主催の第40回尾張旭市社会福祉大会に出席しました。式典の後、川島隆太氏の講演を拝聴しました。テーマは「脳の健康は地域社会を元気にする」というものでした。加齢とともに脳の健康をどう守るかについて興味深い話しをされました。脳はエネルギーをためることができないので、脳が元気に働くためには食事が大変大事であることを力説されてました。特に子どもには、朝ご飯を食べることがいかにたいせつか納得できる内容でした。また機会がありましたら、もうすこし詳しく皆さんにお話しさせていただきます。

## 会長あいさつ

山田 直樹

本日は、尾張旭青年会議所より岩田理事長、植松専務理事が来てくださいました。歓迎申し上げます。今年度のご活躍を心より祈念もうしあげます。さて、先週は祝日で例会がお休みでしたので、皆様とは久しぶりにお目にかかることになりました。2月5日・6日の両日クラブの有志のみなさんと篠島へふぐ料理を食べに行ってきました。大変楽しいひとときを過ごすことができました。2月5日は3時半ごろこちらを出発した

## 幹事報告

- ・2/4 第11回理事役員会 於商工会館 山田会長以下11名出席。
- ・2/5 第34回なわとび大会 於尾張旭市体育館 山田会長、福岡新世代委員長、唐井幹事出席。
- ・2/15 地区広報・雑誌委員長会議 於名鉄グランド 村

### OFDY月間・識字率向上月間

	3月 4日(金)	3月11日(金)	3月19日(土)	3月25日(金)
例会予定	卓話担当者: OFDY委員会 卓話者: 西尾OFDY委員長 演 題: 「OFDY 月間に因んで」	卓話担者: 丹羽 敏行君 演 題: 「カメラとパソコンのトレンド」	18日(金)振替 東尾張分区 IM 於 ウェスティンホテルキャッスル AM9時 点鐘	親睦例会 テーマ「春の家族会について」

ル 唐井幹事出席。

- ・ 本日の会合：なし
- ・ 次回の会合：第4回O F D Y委員会。
- ・ 例会変更のお知らせ：別紙。

## (社)尾張旭青年会議所 表敬訪問



あいさつをされる岩田理事長

## マルチプルポールハリスフェロー授与



マルチプルポールハリスフェローの大嶋一二三君(右)

## 委嘱状



委嘱状を受ける大野君(右) 委嘱状を受ける加藤君(右)  
次年度の地区役員

大野君-未来委員と加藤君-ポール補助金委員です。

## 卓 話

「車検あれこれ」 唐井 仁一

製品や商品を作る時には何か基準となるものがあるって作られていると思います。車も道路運送車両法の保安基準に沿って設計され作られています。

さて、車検の目的は事故による人命や財産の損失を無くす為の安全確保、排気ガスや騒音による公害防止の環境保全を確保する為、定期的に点検を行う事により車の性能維持を堅持する為に行うものであると定義されています。

車検には新規検査、継続検査、臨時検査があります。本日は皆さんが一般に言われる車検は継続検査なの



でこの話をさせていただきます。自家用乗車でお話しますと法律では、24 か月点検と保安基準に適合しているかどうかの検査を継続検査の時に行うとうたっております。

それでは具体的なお話をします。車が入庫しますと受け入れ検査を主任整備士が検査員が行います。ここで保安基準の内容に抵触する状態かどうかを見て記録簿に指示をして行きます。次に整備士が24 か月点検と車検に通る為の車検整備を受け入れ検査の指示を確認しながら行い完成すると検査員が完成検査を行います。完成検査は入庫した車が車検証と間違いのないかの同一性の確認という検査をおこないます。そののち、検査機器によるブレーキの制動力、ヘッドライトの光軸の向き、明るさ、排気ガスの濃度、タイヤの横滑り量、スピードメーターの誤差等の検査を行います。次に目視によりそれぞれの装置を点検ハンマーを使い検査していきます。この判断となるのは保安基準の検査実施要領という条文になります。ここには装置の取付のゆるみ、ガタ、亀裂、損傷、大きさ、明るさ等きめ細かく指示が書いてあります。完成検査が終わると現車の作業は終了し、後は書類を作成し陸運事務所に提出して一連の作業は終了します。しかし、車検はなぜ多額の費用がかかるのでしょうか。それは経費の半分近くは税金等の諸経費(重量税・強制保険料・登録印紙・自動車税(未納の場合)・駐車違反金(未納の場合))がかかっているからです。残り半分が車検整備・検査にかかる費用です。私たちの業界はこれらの税金を集金し国等に納める仕事を無報酬で行っており、個人的には車検と切り離して行政がやるべきことだと思っております。そうすれば車検にかかる費用は半額で済むわけです。

それでは、安く車検を行う特効薬はあるのかと言いますとありません。普段から保守管理を怠らないのが安く済む為の近道であると思います。具体的にはオイル交換はこまめに行う。(3 ~ 4000Km で交換、高額なオイルでなく安いもので良い)タイヤが減る行為を避ける(急発進・急停車、曲り角の多い路地走行)事が結果的に効果があります。

次にユーザーが判断できる車検診断のお話をします。フロントガラスのひび割れ、フロントガラス及び運転席・助手席の窓ガラスへのフィルムの貼り付け、ワイパーの吹き残し、ワイパーゴムの分離、ランプの球切れ、レンズの破損、タイヤのスリップサインの出たもの、駐車場の床にオイルや冷却水のシミ後があるものは車検に通りません。

終わりに皆さんが整備された車に安心して乗って頂き、職場や家庭において有効に活用して頂くことを願って卓話を終わらせて頂きます。

ニコボックスは次週に掲載させていただきます。